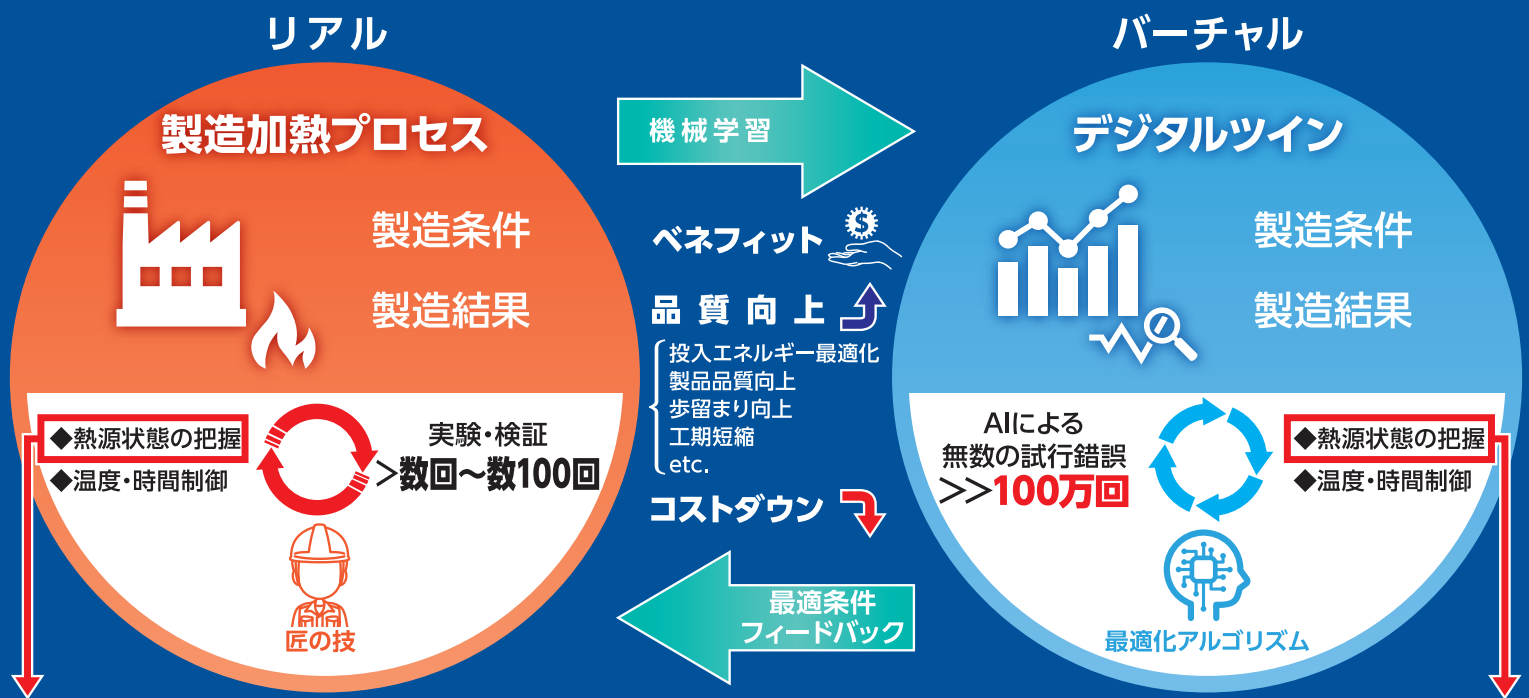


熱源の見える化とデジタルツインによる加熱プロセス最適化 ー可採熱量計測による品質安定化とエネルギー効率化



カーボンニュートラル

SDGs



熱を見える化する 可採熱量評価システム

GX

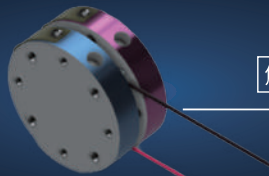
DX

排熱・余剰熱



装着

熱源計測デバイス
[コアハードセンサー]



解析

可採熱量評価
[ソフトセンシング]



計測原理：独自の技術による、アクティブ温度センシングにより、熱コンダクタンス、熱流など、熱源の状態を高精度に計測。

熱源計測デバイスをコントロール、取得したデータを独自アルゴリズムで処理し、可採熱量を始めとする各種熱源データ、指標を提供。



排熱発電の採算性指標の提示、
製造加熱プロセスのデジタルツイン化など、
カーボンニュートラルに向けた熱ソリューション開発にお役立て頂けます。

開発中 共同研究パートナー：東京理科大学
「可採熱量評価システム」関係特許出願中

国立研究開発法人
NEDO 新エネルギー・産業技術総合開発機構
New Energy and Industrial Technology Development Organization

東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

この成果の一部は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業（JPNP21005）の結果得られたものです。



株式会社アルテックス
〒201-0012 東京都狛江市中和泉2-10-1

お問い合わせ
TEL:03-5497-5331
Email: info@altexcorp.co.jp

